

全学連統一派支持決定

2部自治会が1回自治委員会で！

一部の学友のみならず！

二部自治会は心からみなさんに訴えます。

あの歴史的な安保斗争の中で、一部の思いあがった学生のために、学連は崩壊しました。一つした中にあって、全学連介錯崩壊の中、深刻な教訓を学びました。

自治会はみんなのもの、みんなの利益を守るもの、学生のあらゆる要求をくみあげ、管れでも、どこからでも参加できる学生運動を台言葉に斗ってききました。

そして一九六四年十二月、全学連規約にそとすき全国七十一大学一二九自治会から選出された代表二十七名により、全日本学生自治会総連合が再建されました。再建された全学連は、ロストウ、ロソジ来日阻止斗争、日露条約批准阻止斗争などを斗い、手大学の危機が高まる中で早大の一五〇日間のストライキをはじめ、全国各所で「学闘斗争」を闘いました。

私たちが二部自治会も一貫して全学連の旗の下に結集して学友の要求実現の街頭にたって斗ってききました。

しかしながら、残念なことには、市大一部自治会はいまだ全学連の旗の下に結集するにはいたっていません。そのために全学的な斗争に大きな障害をもたらしています。

一部の学友のみならず！

二部自治会は、一回自治委員会において二部全学連統一派の政策を支持し、その勝利のために斗争ことを決定しました。

反動勢力は、三派や革マルの暴力を理由に学生運動全体を弾圧しようとしてきています。二つした中で全学連は、学生運動の持つ二つの任務を定式化しました。

カ一の任務は、「学生独自の要求と全人民と学生の共通の要求、政治課題、にもとずいて民主勢力の一翼として斗争ことであり」、カニの任務は、「二つした斗争と学内研究、文化活動を通じて将来すべしインテリゲンチヤとなる準備をする」

そしてこの二つの任務をはたす上で学生の基本的要求である、学内研究、文化、スポーツの要求にもとずく活動を学生自治会がもと重視してとりくむことが重要になっている。ということを明らかにしました。

一部の学友のみならず！

全国70%以上の自治会を結集した全学連に結集して共に闘いましょう。ライオンスルーの旗の下に結集を

全学連に一日も早く加盟復帰し、市大の斗争を發展させよう。

大阪市立大学2部学生自治会自治委員会